

ゴルフ界の諸課題の解決に向けて「オールジャパン」で臨む

1月17日のゴルフ新年会で竹田恒正JGA会長と倉本昌弘PGA会長による特別企画講演を開催しました。

そこではゴルフ人口の減少などさまざまな問題の解決に向け、

日本ゴルフ界が団結した「オールジャパン」の体制で取り組んでいく基本方針を発表しました。

ここでは竹田恒正JGA会長が語った、現行の取り組みの成果と今後の展望について紹介します。



テニスや卓球、スケートなどの競技でも明らかなように、世界で活躍するプレイヤーの出現がその競技が盛り上がる大きな要因になっています。ゴルフでは現在、松山英樹選手がUSPGAツアーで活躍して注目を集めていますが、AONや倉本昌弘選手の時代と比べると松山選手以外のプロ選手の世界でのプレゼンス(存在感)が弱まっていると感じています。

日本選手が世界でのプレゼンスを高め、日本ゴルフ界を再び盛り上げるにはどうすべきか。私は2020年の東京五輪ゴルフ競技が開催される霞ヶ関カンツリー倶楽部で日本選手がメダルを獲得することこそが最高の契機になると確信しています。

東京五輪にはその国の一番強い選手、つまりはプロが日本代表として出場することでしょう。しかしながら、メダル獲得のためにはプロの強化だけでなく、ジュニア有望選手の発掘育成からの継続的な強化が絶対に必要であり、プロとアマの垣根をなくした、まさに「オールジャパン」で取り組むべき問題なのです。

JGAではかねてから男女ナショナルチームを組織して強化を図ってきました。2015年からは更なる飛躍を図るため、オーストラリアからガレス・ジョーンズ氏をヘッドコーチに招聘しました。同氏を中心としたコーチングスタッフにより科学的な根拠に基づいたスウィング理論、フィジカル、コースマネジメント、メンタルなど

多岐にわたる世界水準の強化プログラムによるトレーニングを実施し、その成果が国際競技での好成績となって表れています。

まずジョーンズ氏就任直後、2015年のノムラカップアジア太平洋アマチュアチーム選手権で26年ぶりの優勝を果たしました。2017年にはネイバーストロフィーチーム選手権で13年ぶりの男女アベック優勝。同大会では今年、男子が初めての連覇を飾っています。また、昨年の日本オープンではナショナルチームの金谷拓実選手が1打差2位に食い込み、今年1月のオーストラリアンアマでは男子が中島啓太選手、女子は山口すず夏選手と男女ともに日本選手が優勝する快挙を成し遂げました。昨年、日本女子オープンで連覇を飾った畑岡奈紗選手や勝みなみ選手、新垣比菜選手ら現プロのいわゆる黄金世代もナショナルチーム出身。若手が着実に育っています。

これらの成果を踏まえ、JGAではジョーンズ氏のもと、プロ3団体とともに若年層の発掘育成、ナショナルチームの強化、ルーキープロへの支援、五輪強化指定選手、五輪代表選手までを一気通貫で育成する新しい「選手強化プログラム」の構築を決定いたしました。まずはPGAと連携し、ジョーンズ氏の方針を受け継いだ「指導者育成」に着手して、小学生やジュニアなど若年層の選手を指導するコーチングスタッフが全国に行きわたるよう計画しています。

日本ゴルフ界が活況を取り戻すための選手強化事業には多くの資金が必要です。財源についてはゴルフファアからの寄付金や企業からの協賛金を募り、「オールジャパン」で進めていきたいと考えております。ゴルフファア、企業の皆様のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。



選手の育成強化 日本代表支援 **寄附金募集中!!**

世界へ羽ばたけ ゴルフ日本代表



国際競技において、活躍できる選手の育成強化並びに国際競技への日本代表選手派遣のため、

皆様のサポートをお願いいたします。

募集対象

- 1 選手強化プログラムの構築
- 2 国際競技への日本代表選手の派遣や強化合宿の実施
- 3 指導者育成強化プログラムの構築

御礼について ご寄附いただいた方へは、金額に応じた御礼を用意させていただいております。

寄附金申込 クレジット決済と銀行振込からお選びいただけます。
www.jga.or.jp/jga/html/donation



《 本件に関するお問い合わせ先 》
公益財団法人日本ゴルフ協会 総務・管理部 Tel. 03-3566-0003

公益財団法人日本ゴルフ協会

選手の育成強化 日本代表支援 協賛社・三菱商事

